

10/19  
埼玉

# メガソーラー 参入事業者が決定

## メガソーラー

### 県長瀬射撃場

### 来年10月から発売電

県は18日、県長瀬射撃場(同町野上下郷)の遊休地を活用して計画するメガソーラー(発電出力千キロワット以上の大規模太陽光発電)事業の参入事業者が「グッドエネシーSPC長瀬合同会社」(さいたま市浦和区)に決まったと発表した。

同様のメガ級発電事業を展開する「グッドエネシー」が母体の同社に決まった。

(沢田稔行)

事業計画では今年3月末で閉鎖となったグレイ射撃場跡地1万8468平方メートルに太陽光パネルを設置。事業者は売電収入を得て、県に土地の賃貸料金を支払う仕組み。

計画によると、発電出力は1248キロワット。年間の発電電力は一般住宅約300戸分が賄える約139万4千キロワット時を見込む。事業地の賃貸料は1平方メートル当たり276円で、県は年間約510万円を受け取る。貸付期間は20年間。

みどりの自然課によると、7月に企画提案方式で事業者を募ったところ、7社から応募があり、庁内の審査委員会で審査した結果、全国16カ所で

今月中に基本協定を結び、来年6月からパネル設置工事に着手。同10月から発電、売電を始める予定だ。

県有地を民間に貸し付けて行うメガソーラー事業は、寄居町の県環境整備センターごみ処分場埋め立て跡地を使った事例(7月から稼働)に続

いて2例目。県行田浄水場では県直営でメガソーラー発電を行っている。